

報道機関各位

令和5年7月25日
北九州市上下水道局

小学生が「じゅんかん育ち*」のホップを収穫体験！ ～ホップ栽培を通じて北九州市を明るく元気にします～

- 響灘ホップの会では、地域活性化、SDGsの推進に向け、2020年から市内の農園をはじめ幼稚園、小学校、大学、市民センターなどにおいて、市民参加を促進しながら、ビールなどの原料となるホップの栽培、地ビールや化粧品の製造・販売などに取り組んでいます。
- 上下水道局でも、響灘ホップの会と連携して、日明浄化センターでホップ栽培の研究を進めており、4月に苗を植えたホップが収穫時期を迎えました。
- そこで、上下水道局が主催する「親子ふれあい教室」に参加する小学生が、市内でも珍しいホップの収穫を体験します。

■ホップの収穫体験

- 日 時：令和5年7月27日（木） 15時35分～16時15分
- 場 所：日明浄化センター（小倉北区西港町96-3）
- 内 容：「親子ふれあい教室」の参加者（小学生とその保護者）
約40名が「じゅんかん育ち」のホップを収穫します

〈親子ふれあい教室とは〉

上下水道の役割や仕組みを親子で楽しく学んでもらうことを目的に、上下水道局が毎年、夏休み期間中に開催
今年は、7/27に一日かけて市内の上下水道施設を見学

ギランも
やってくる！



©2009GVK

■収穫したホップで地ビールを製造・販売【予定】 響灘ホップの会が担当

日明浄化センターで収穫した「じゅんかん育ち」のホップと、道原浄水場の緩速ろ過水を組み合わせた地ビールを今年秋に製造・販売予定



浄化センターのじゅんかん育ちホップ



ホップの実

収穫したホップ



地ビールの製造



ホップの収穫体験(R4年度)

*「じゅんかん育ち」とは

- ・下水再生水や下水汚泥からつくった肥料で育てた農作物（下水道発食材）の愛称
- ・国土交通省では、下水道資源を農作物の栽培等に有効利用する取組を推進しており、安全で美味しい食材として全国各地で注目

【お問合せ】

上下水道局下水道計画課（担当：西田（課長）、松田（係長））

電話 093-582-2480

響灘ホップの会（担当：安枝）



上下水道局のキャラクター
「スイッピー」



響灘ホップの会